

## 活動報告書

市町村（学校組合）名 学校法人名等	四万十町立米奥小学校
担当課・担当者職氏名	校長 弘光 敦

テーマ	ふるさとの山の恵みを感じよう		
学校名（学年）	四万十町立米奥小学校（全学年）	対象児童・生徒数	16人
概要及び実施内容	<p>1 目標</p> <p>(1) 四万十川の豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深める。</p> <p>(2) 児童一人一人が保護者や地域の方々と協働して森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって山を守り育てていく気持ちを醸成させる。</p> <p>(3) 体験活動を通して故郷に誇りを持って行動できるような気持ちを育てる。</p> <p>2 活動内容</p> <p>(1学期)</p> <p>7月19日(日) 川びらき IN 松葉川</p> <p>8月9日(金) 川の恵みについて知ろう ・カヌー教室（全校）</p> <p>(2学期)</p> <p>10月8日(木) 紙芝居とフィールドワーク 講師1名（松井豊美）</p> <p>11月6日(金) 山と海のつながりを知ろう①（3年生以上）</p> <p>11月13日(金) 山と海のつながりを知ろう② 水生生物・水質調査（全校）</p> <p>11月21日(土) 山と川の日学習（全校） ・山と川の学習（巣箱の清掃・なめこの種駒うち） 講師2名（池田十三生・大川内憲作） ・カレー作り（保護者・地域・運営協議会参加）</p> <p>(3学期)</p> <p>2月16日(火) 瓦びなづくり（全校） ・瓦びなづくりと四万十川一斗俵沈下橋への展示</p> <p>2月20日(土) 山の日学習・ほのぼの作品展（全校） ・学校林への植樹・巣箱かけ 講師1名（村上智之） ・四万十川の清掃作業・土手への球根植え 講師1名（池田十三生） ・シイタケの種駒うち 講師1名（武田茂男）</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山の学習」を「山と川の学習」と名前を変更して、山を守ることが豊かな川や海を育むと行くスタイルに変えることによって、活動の幅が広がった。子ども達もより自分たちの周りの環境に意識が向き出した。</li> <li>・今年は、四万十川の河口域から中流域と見学や体験ができたことは成果だった。</li> <li>・講師やボランティアができてくれる人が増えた。</li> <li>・まだまだ、単発的な活動が中心であるので、調べ学習なども増やしていきたい。</li> </ul>		

(注)

- 1 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 2 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 3 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

# 令和2年度 高知県山の学習支援事業 活動報告書

四万十町立米奥小学校

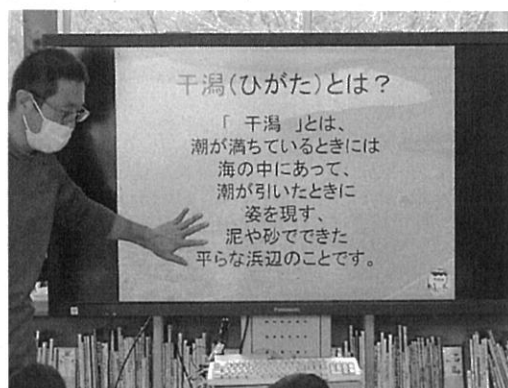
## 【カヌー教室】 8月7日（金）

川と親しむことを目的にカヌー教室を行いました。出発地点の市生原（いちゅうばら）の河原でライフジャケットのつけ方やこぎ方などを講師の先生に習い、ゴールの三堰（さんせき）のキャンプ場まで乗りました。四万十川財団の方や学校運営協議会、保護者の方々も協力してくれ、三堰付近ではとても上手に乗れるようになっていました。



## 【山と海のつながりを知ろう（四万十川下流域・中流域の学習①）】 11月6日（金）

豊かな山が豊かな川や豊かな海を形成するというコンセプトのもと山と川の学習を行っているが、その大まかな流れを四万十川財団の神田さんに来ていただき、3年生以上の児童を対象に学習しました。今年は、河口の見学に行くこともあり干潟のことやそこにいる生き物のことなどを中心に話してもらいました。わかりやすい資料やパワーポイントで説明してくれたこともあり、とても分かりやすく、次週の社会科見学に生かすことができました。



## 【山と海のつながりを知ろう（四万十川下流域・中流域の学習②）】 11月13日（金）

学校の横を流れている四万十川がどこを通過して、どこまで流れているのか、河原の様子や水質検査を行いながら川の様子を観察する学習を行いました。学校から下っていくルートで行く予定でしたが、干潮の時間に間に合わないこともあり、逆コースで実施しました。実施ルートと実施内容は次

の通りです。大方海岸（四万十川の砂で形成されている）見学、干潟体験、河口の観察（下田公園）、鮎の産卵場の観察と水質検査、四万十町昭和の河原での水質検査、米奥小下の水質検査です。8時30分出発16時30分着と少しハードな内容になってしまいました。

#### 【大方海岸】

普段見ることのない砂浜の広い大方海岸で15分ほど波打ち際で遊びました。砂粒の細かさやカニの掘った無数の穴に驚いていました。

#### 【下田河口の干潟】

干満差が大きいことからできる四万十町下田の干潟に、実際に入って干潟の生き物観察を行いました。泥に足をとられてこける児童もいましたが、普段経験できない干潟に大興奮でした。時期が遅かったこともあり、多くの生き物がいませんでしたが、そこでしか見ることのできないトビハゼやチゴガニを見ることができました。

#### 【鮎の産卵場】

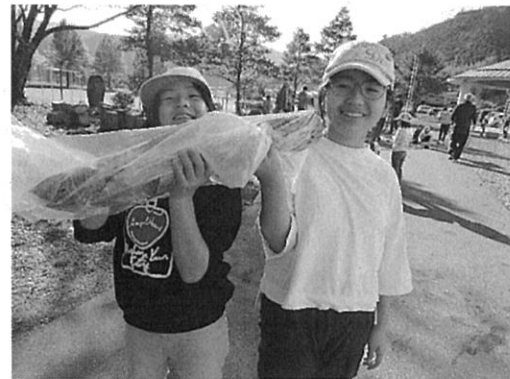
落ちアユの産卵の時期と重なったことで、四万十川中央漁業協同組合の組合長さんに鮎について学び（鮎の一生・鮎の天敵・鮎漁の種類など）、産卵場所の見学をさせていただきました。川の水面が波立ち、多くの鮎が産卵していることが実感できました。産卵後の鮎の様子やみんなが知っている鮎と色が違う点など驚きの連続でした。また、産卵後の鮎をねらって数多くの水鳥が集まっているところは、自然の厳しさと生き物の循環の一端も知ることができ、貴重な体験をさせていただきました。水質検査も行い、川の水もきれいなことがわかりました。





### 【山と川の日学習1】11月21日（土）

今年度も、収穫祭を兼ねて午前中は、地域の方や学校運営協議会の方たちと一緒にカレー作り、午後からは、「山と川の日学習」を行った。今年は、なめこの種駒うちと学校林にしかけた巣箱の清掃と古くなった巣箱の撤去を行いました。地域の方に間伐材を用意していただき、なめこの種駒うちと新聞紙やビニール袋に包む作業を行いました。なめこの種駒を2000個用意していましたが、みんながよく動け1時間ほどで打ち終えビニールに包めました。その後、四万十川を挟んだ山へ登り、巣箱を観察し、古くなった巣箱を回収しました。展望台から学校林へ続く山道も探索し、珍しい植物（つちとりもち）も見ることができました。今年はコロナ禍のため高知大生との交流ができなかったのが残念でした。







## 【山と川の日学習2】 2月20日（土）

一昨年度から地域との触れ合いの場であるほのぼの作品展やバザーの日に合わせて、山と川の日学習第2弾として位置づけて活動を行っています。今年度は、学校林への巣箱かけと植樹（イロハモミジ23本）、シイタケの駒うち体験、四万十川の清掃活動と土手への曼殊沙華の球根植えと盛りだくさんの活動を実施しました。まず、最初に学校林への植樹と11月に持ち帰っていた巣箱を修理したものを設置しました。あさぎり森林組合の方々に助言をもらいながら植えていきました。その後、珍しい植物が自生していることも教えてもらいながら展望台まで足を延ばし米奥小学校区を展望することができ、山と川の重要性を再認識したことでした。帰校後、11月学習の残りの間伐材を使い、シイタケの駒うち体験を行いました。11月のなめこの駒うちで体験していたこともあり、ドリルでの穴あけから駒うちまで手際よくできていました。昼食後、池田十三生さんに四万十川の歴史を学びました。四万十川を大切に守ってほしいという気持ちが、子ども達にも伝わるいいお話でした。清掃活動は、保護者や地域のボランティアの方々と一緒に学校前の河原で行いました。今年は、土手への曼殊沙華の球根植えも併せて行いました。豊かな山を守るためにも山だけでなく、川も大切にする気持ちが育ってくればいいなと願っています。





【川びらき In 松葉川】 7月19日（日）

今年、コロナ禍のため7月25日（土）に予定していた「第13回米奥小学校沈下橋夏祭り」が中止になり、少しでも元気を届けたいと松葉川青年団が中心となって、イベントを行ってくれました。四万十川最古の沈下橋である一斗俵沈下橋での大声大会・カヌー・SUP体験・バンド演奏・宝探しなど盛りだくさんの内容を企画してくれました。子ども達もバンドに合わせて踊りを披露したり、沈下橋から飛び込んだりと大喜びでした。



【いっとひょう沈下橋アートプロジェクト】 11月22日（日）

昨年の山と川の学習で行ったアートプロジェクトの第二弾として、今年も松葉川青年団がカップのお祭りをテーマに「第3回いっとひょう沈下橋アートプロジェクト」を行いました。その一環としてワークショップ講師の尾畠雛子さんに来ていただき、カップの衣装づくりをしていただきました。みんなそれぞれ工夫を凝らし、自分流のカップの衣装を作ることができました。これを11月22日（日）の本祭でお披露目しました。



【紙芝居・フィールドワーク】10月8日(木)・2月20日(土)

毎月読み聞かせをしていただいている松井豊美さんに来ていただき「馬洗い淵昔話」という自作の紙芝居をしていただきました。その後、カップの棲み処だという伝承の場所に案内してもらい、地域の伝承を色々と聞くことができました。その時に拾ってきた石を使ってカップの作品作りも行いました。

また、2月の山と川の日学習の時に米奥の歴史を描いた新作の紙芝居「米奥神田郷散策マップ」を披露してもらいました。大人が聞いても興味深い内容で、発表会に来ていた方々も興味深く聞き入っていました。

